

■ 介護職員等処遇改善加算

介護老人保健施設とやま (通所リハビリテーション)

区分	内容
入職促進に向けた取組	・毎年度目標管理シートを作成して法人理念や部門目標を共有する。
	・法人全体での職員採用、人事異動によるローテーションの実績あり。
	・無資格未経験、またはブランクのある職員採用実績あり。
	・地元中学生の訪問を受け入れて入所者と交流の機会を設ける。地域行事への参加なども実施している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	・資格取得支援のための法人による費用負担、勤務調整を実施している。
	・人事考課において研修受講等の自己研鑽、積極性を評価。
	・可能な限り固定した職員が新人指導を担当する。
	・年に2回、所属長との面談機会を設けている。
両立支援・多様な働き方の推進	・産休、育休の取得実績あり。
	・育児のための時短勤務制度の導入や夜勤なしでの正社員雇用実績あり。
	・有給休暇取得の促進を積極的に行っている。
	・職員のハラスメント等相談窓口を設置している。
腰痛を含む心身の健康管理	・腰痛対策として移乗用リフト、入浴用の自動昇降ストレッチャーを導入している。
	・職種、雇用形態を問わず健康診断とストレスチェックを実施している。
	・雇用管理責任者講習を受講した管理職を配置している。
	・各種マニュアルを整備して対応している。
生産性向上のための業務改善の取組	・タブレット、PCによる記録や計画書作成、センサーマットの導入による負担の軽減を行っている。
	・利用者の洗濯を専門に担当する職員の配置や清掃、厨房業務の外注により介護職員の負担を軽減している。
	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備
	・介護記録システムを導入することで記録の負担軽減や円滑な情報共有を行っている。
やりがい・働きがいの醸成	・毎月ユニットごとにミーティングを開催してケアの方法や勤務環境について意見を交換できる場を設けている。
	・認知症カフェの開催や地域のお祭りへ参加することで地域包括ケアの一員として貢献する機会を設けている。
	・外部、内部問わず研修への参加を積極的に促進している。
	・利用者、家族から寄せられた謝意などを朝礼で職員に伝達している。